

ロシア極東における森林火災の削減・被害軽減に関する共同研究事業

【令和2年度予算概算決定額 33（－）百万円】

<対策のポイント>

ロシア極東地域における森林火災の削減・被害軽減策の推進に関する国際共同研究を実施し、気候変動の緩和・適応に貢献します。

<政策目標>

ロシア極東地域における森林火災の削減・被害軽減に関するローカルプランを2つ以上策定 [令和6年度まで]

<事業の内容>

【背景】ロシアでは森林面積の約4割を占める極東連邦管区において、地球温暖化等の影響により森林火災が増加しており、森林の劣化や煙害による影響が深刻になっています。このため、国際林業研究センターの有するデータ及び専門的知見を活用し、森林火災の削減・被害軽減に関する国際共同研究を実施し、気候変動の緩和・適応に貢献します。

1. ロシア極東地域における森林火災発生地域及びリスクの調査

- 森林火災の頻発地域や脆弱な地域を特定するとともに、森林火災リスクマップを作成します。

2. 森林火災の煙害による社会・健康への影響調査

- 大気汚染モニタリングを行うとともに、煙害による地域の社会面・健康面への影響を定量・定性的に評価します。

3. 荒廃地域の環境修復及び森林保全に関する調査

- 森林火災により荒廃した土地の環境修復に関する調査を行うとともに、森林認証制度の活用等、森林火災軽減のインセンティブとなる対策を検討します。

4. ロシア極東地域における森林火災の削減・被害軽減に関するローカルプランを策定

- 上記1～3の結果を踏まえ、地域の関係者とともに、科学的根拠に基づく森林火災の削減・被害軽減に関するローカルプランを共創します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

背景

- ・ロシア極東では地球温暖化の影響により、森林火災が増加
- ・森林火災による煙害で北日本も被害



森林火災の削減・被害軽減が喫緊の課題

森林火災発生地域及びリスクの調査



- ・衛星、GIS分析
- ・火災リスクの高い地域の特定

森林火災リスクマップ

森林火災による煙害の社会面・健康面の影響調査



- ・大気汚染モニタリングシステム
- ・健康影響評価手法の検討

社会/健康被害の定量・定性評価

荒廃地域の環境修復及び森林保全調査



- ・荒廃地環境修復手法の検討
- ・森林認証制度、エコツーリズムの利用を検討

リスク軽減策、代替策の検討

科学的根拠に基づく、森林火災の削減・被害軽減に関するローカルプランを地域の関係者とともに共創。



【お問い合わせ先】 (1) 大臣官房海外投資・協力グループ (03-3502-5913)
(2) 農林水産技術会議事務局国際研究官 (03-3502-7466)